

バンビ通信

No.15 令和5年10月



朝晩の暑さも少しずつやわらぎ。夜は、虫の声も聞かれるようになってきました。

皆様お元氣でお過ごしでしょうか。

今年の夏は行動制限が解除され、久しぶりに故郷に帰省したり、海や山にお出かけにされたりした方も多いのではないのでしょうか。



バンビも新園舎が完成し、元の場所に戻り4か月が経ちました。

大きな窓から園庭で遊ぶ元氣な子どもたちの姿が良く見えます。

これから少しずつ秋に向かう頃に、夏の疲れが出やすい頃ですので、体調管理にご注意ください

4月から9月までの利用状況 診断名の多い順

4月	RSウイルス感染症	溶連菌感染症	急性上気道炎	感染性胃腸炎
5月	手足口病	RSウイルス	ヒトメタニューモウイルス	ヘルパンギーナ
6月	急性上気道炎	喘息・喘息性気管支炎	ヒトメタニューモウイルス	ヘルパンギーナ
7月	RSウイルス	急性上気道炎	手足口病	多形性浸出性紅斑
		細気管支炎	長期入院後	てんかん
		急性上気道炎	手足口病	ヘルパンギーナ
		急性上気道炎	手足口病	気管支炎
				喘息性気管支炎
				とびひ
				など



バンビの定員が変わります！

- 定員：一日4名から**5名**に
- 開室：月曜から土曜8時から18時まで（祝日除く）
- 利用料：一日2,000円
- 給食（風食・おやつ）希望の方 別途380円
- ※離乳食・ミルクやアレルギー食はご持参をお願いします。
- 予約：電話にて前日または当日9時半まで



体調のすぐれない時、回復期にバンビをご利用ください

- 上気道炎症状や消化器症状等のある時は
- 「ご本人やご家族が新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスなどでない時」
 - 「当日からの発熱でない時」
 - 医師の診察により、「病後児保育室」適用
＝「他のお子様と一緒に過ごして良い時」
＝「隔離の必要がない時」
にご利用いただいております。
- ☆お子様の体調や病気の種類、病期により、「病後児保育室」と「病後児保育室」を上手に使い分けさせていただけると良いかと思われまます。
ご理解とご協力をお願い致します。

ナオミ保育園病後児保育室/バンビ
住所：世田谷区等々力4-1-3-10
大井町線尾山台駅から徒歩3、4分
電話：03-3701-8311



子どもたちの歯・口の變化にどのように対応したらよいか

今年の夏も「全国病児保育研究大会 in 鹿児島」で学んでまいりました。その中で特に興味深かった「子どもたちの歯や口腔内のこと」について、まとめたいものを紹介いたします。

「最近の子どもたちに多い～おロホカーン～」

医療法人 奥歯科矯正歯科 鹿児島大学教授 奥歯志氏

最近の子どもたちに見られる気になる特徴として、お口がホカーンと開いている子、唇が良く乾く子、食べるときにクチャクチャしている子、など口で呼吸している子が増えている。（保育園児の実態調査より）
本来の口の動き・・・①食べたり飲んだりして、よく噛み＝咀嚼し、飲み込み＝嚥下し、栄養を取り入れる。
②発声、発音、発語する機能を持つ。

☆呼吸とは、鼻から空気（酸素）を吸い込むものであることを忘れないでほしいとのことでした。

口呼吸の原因
・口の周りの筋肉（口輪筋）が弱く、口を閉じにくいいため・鼻水、鼻づまりがあるときなど

口呼吸で困ること（弊害）鼻呼吸に比べ
・口唇乾燥・猫背になる・集中力の低下
・咀嚼がうまくできなない・むし歯になりやすい
・歯並びが悪くなる・かぜをひきやすい
・前歯の意がみ合わせが悪くなりやすい

子どもの育ちから見た～

「子どもたちが上手に噛める・食べられる・呼吸できるように」なるためには

- 新生月期から 授乳時に乳型に赤ちゃんを抱っこして、しっかりと深飲みしてもらおう。人工乳の場合は、**母乳の場合、舌を前後に動かして、構造の哺乳瓶、乳首を選ぶ。** 母乳の場合、舌を前後に動かして、口だけでなく、首や体全体を使って吸っている。これにより口周囲筋を刺激し、首や体を強くしている。
- 6か月以降 口をきちんと機能させる。離乳期に大人がスプーンで流し込みます、取り込めるように促す。**前歯でかじり取ることを促す**。「前歯の骨の成長」を十分促し、かみ合わせ（咬合）を正しく導く。**舌をしっかりと上あご（口蓋）へ押し付け**ることにより、口蓋が広がることにつながる。
- 手づかみ食べを十分促す。**手と口をしっかりと使って食べる**ことにより、咀嚼能力と手指の巧緻性を促し、手と口の協調運動を発達させることにつながる。
- 4つ指の正しいハイハイをする**ことにより、「舌骨上下筋群の発達」を促す。
- 大きい子どもは**よく噛みましょう！** 脳の働きが活発になります。よく噛むことで、あごの骨や筋肉の成長を助けます。～噛み餌のある食事を！ 歯肉に刺激が伝わり、歯を支えている骨や組織が丈夫になります。唾液の分泌を促し、消化を助け、むし歯を予防します。

☆鼻で呼吸することを意識しましょう。
☆鼻水をかむ・鼻水・鼻詰まりがあるときは治しましょう。

